

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和3年6月22日(火)
発行者 校長 遠藤 信恵
第6号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

緊急時には安全・確実・迅速に ~引き渡し訓練~



【「誰ですか?」「お母さんです。」】

12日(土)は、引き渡し訓練にご協力いただきまして、ありがとうございました。昨年度は、大雨や熊出没のために引き渡しを行うなど、訓練以外にも実際に引き渡しを行うことが数回あり、今回はその反省を生かして訓練を行いました。

子ども達は放送を聞いて体育館に速やかに避難し、地区ごとに整列して保護者の到着を静かに待ちました。整然と並んで受け付けを行ってくださった保護者の皆様のお陰様で、手際よく引き渡しを行うことができました。どのような状況でも安全・確実・迅速に引き渡しができるよう、改善に努めてまいります。

税の大切さを学びました ~租税教室~

9日(水)、6年生を対象に、会津喜多方法人会主催の租税教室を行いました。日本で1年間に集まる税金は、62兆4千9百50億円だそうです。その巨額の税金が何に使われているのかをDVDで視聴し、税金でつくられている施設を選ぶ問題に挑戦しました。スーパーや



【スーパーは税金?】

コンビニ、銀行やテレビ局も税金でつくられていると考えた子ども達が多くいました。また、学校で使われている税金についても学び、自分だけのためのものではなく、公共を守るために税金があることを理解することができ、社会科での学びをより深めることができました。最後に1億円のレプリカを持たせていただき、その重さにびっくりしながらも、とても嬉しそうな子ども達でした。



【1億円だ。重~い!】

「やればできる!」自信につなげる ~100マス計算大会・スキルタイム~



【全集中の2分間】

今年度も毎月1回、百マス計算大会を行っています。百マス計算大会とは、2分間で百マスの足し算や引き算を行うもので、全校児童が同じ問題で速さと正確さを競います。中には上の学年の児童よりもよい記録を出す児童がいたり、前回より30点以上伸びた児童もいたりしました。結果は、昼の放送で上位の児童とジャンプアップ賞を発表しています。1桁同士の計算なので、家庭学習で継続して取り組むことで、より速くより正確に計算できる力を伸ばすことができます。

スキルタイムは、子ども達がつまずきやすい内容を中心に、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に付けさせることを目的に、金曜日の5校時終了後、30分間の学習を行っています。(6校時の日は行いません。) どちらも、「やればできる」という自信につなげ、学習意欲を高めていきたいと考えています。



【スキルタイムで問題に取り組む】

「オフスクリーン強化週間」と「めざせ!!家庭学習名人」にご協力を!

第一中学校の定期テストに合わせて、中学校区の4つの小中学校が、21日~27日まで「オフスクリーン」に取り組みます。また、本校では、家庭学習のよりよい習慣を身に付けるために、「めざせ!!家庭学習名人」の取組も合わせて実施します。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

バイ菌やウイルスをやっつけろ！ ～手洗い教室～

12日（土）、1年生で養護教諭による手洗い教室を行いました。バイ菌やウイルスについての話を聞いた後、「手あらいのうた」に合わせて正しい手洗いを練習しました。その後、正しい手洗いができているかどうかの実験をしました。子ども達はいつも以上に力を込めて、「手あらいのうた」に合わせてまんべんなく手洗いをしていましたが、ブラックライトを当ててみるとバイ菌が残っていることがわかってびっくり。一人一人、手のどこが洗えていないのかを確認しました。



【泡石けんを付けて】



【歌に合わせて】

暑さに向かう季節です。感染症予防だけでなく、食中毒予防のためにも、手洗いをしっかりさせていきたいと思います。

進んで運動し、体を鍛えよう ～新体力テスト～

16日（水）、新体力テストを実施しました。今回は、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、50m走、ボール投げの6種目を行いました（他は授業で実施）。縦割り清掃班で各種目を回り、6年生の班長がリードし、下の学年の子ども達を優しくサポートしながらスムーズに実施することができました。子ども達が一つ一つの種目に真剣に取り組む姿がとても印象的でした。昨年度は、ほとんどの学年が全国平均を上回りました。今年度の一人一人の伸びが楽しみです。



【ボール投げ】



【上体起こし】



喜多方市人づくりの指針とは



「喜多方市人づくりの指針」をご存じですか？人材育成や青少年の健全育成などを目的とし、平成23年に「喜多方市人づくりの指針」が策定されました。

この指針は、かつてこの地域の多くの住民が学んだ藤樹学の精神を生かすとともに、喜多方市生まれの瓜生岩子刀自、蓮沼門三氏などの先人や藤樹学の教えを尊重し、また、喜多方市の風土や文化、歴史等を踏まえて策定されたもので、私達がめざす姿として、「未来を拓く喜多方人」が示されました。そして、この5つの努力目標を受け、子ども達が目指すべき姿として、「なかよく たくましく 生きる」を示しています。まずは、家族や地域のみなさん、教職員がお手本となって、子ども達を育てていきましょう。

「未来を拓く喜多方人」

- 一つ 強い心・愛敬(あいけい)の心など、豊かな心を持つ人になろう
- 一つ 命の大切さを知り、心身ともに健康な人になろう
- 一つ 郷土の自然や文化、歴史、伝統に誇りを持ち、より素晴らしい地域を創造する人になろう
- 一つ 社会の一員として人の道をわきまえ、良心に背くことのない人になろう
- 一つ 夢や目標に向けて何事にも挑戦し、世界に羽ばたく人になろう

これらのことを受け、特に家庭教育における親（保護者）の役割を十分に踏まえ、家族の絆を大事にしながら、健康で明るい家庭を築くよう努めよう

「なかよく たくましく 生きる」

- 人を思いやり敬(うやま)います
- 「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
- 勉強に励み 体を鍛えます
- 人として恥ずかしい行いをしません
- 喜多方を誇り 社会に役立ちます

目標に向かってやりぬきます。



わたしたちは くじけない強い心を持って 目標に向かってやりぬきます